

令和7年12月

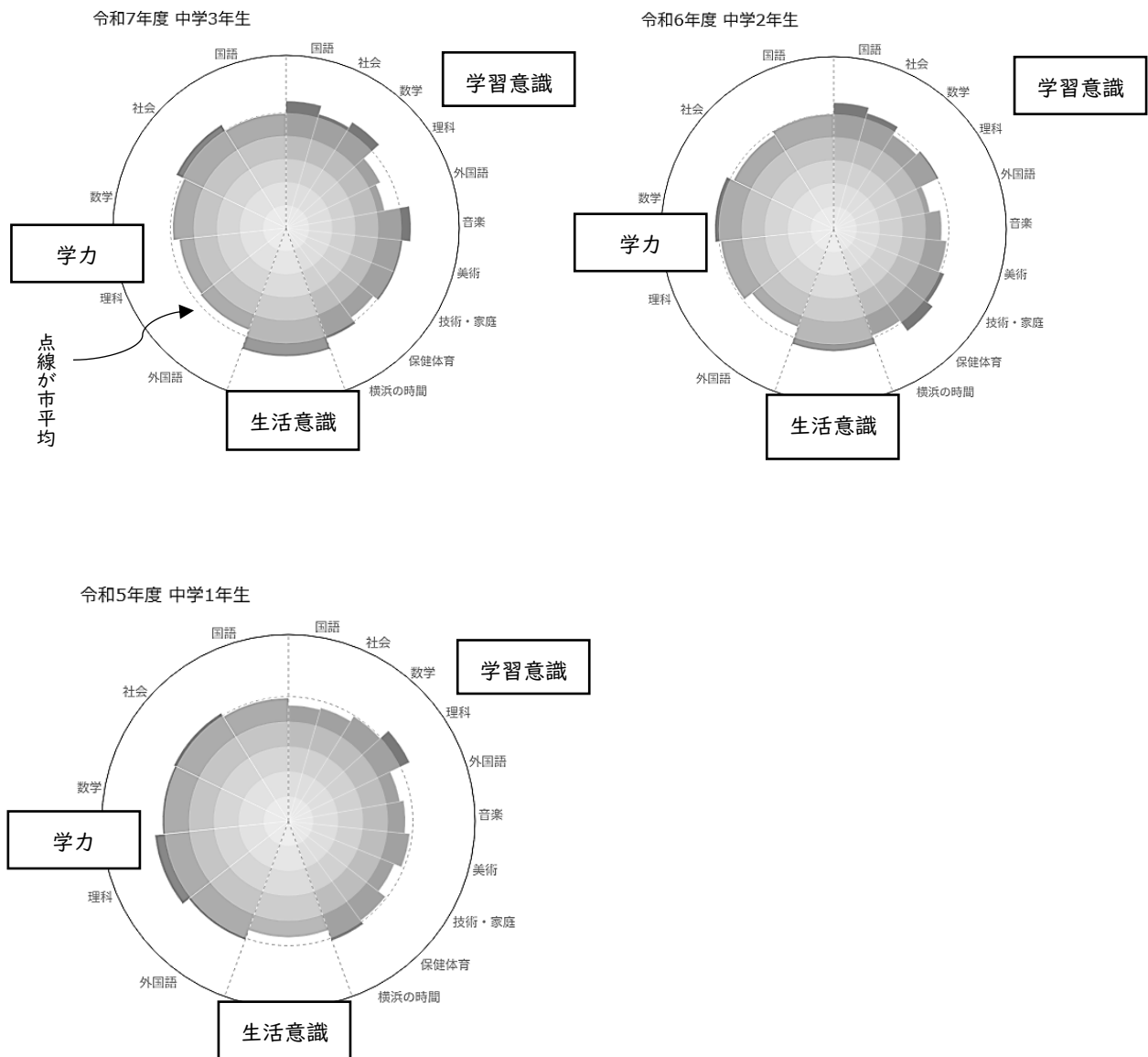
3年生保護者様

横浜市立鶴見中学校

校長 清田 英美

令和7年度 3学年 横浜市学力・学習状況調査 本校の結果

令和7年5月に横浜市立中学校の生徒を対象に実施された横浜市学力・学習状況調査につきまして、本校の5教科に関する結果の概要をお知らせします。



(1) 各教科の状況

- 国語科：どの観点もほぼ市の平均または平均を上回り、全体的に力がついている。学習意識は市平均に比べて高く、前向きに取り組んでいる。特に「国語科意識」と「情報活用」については、平均を上回り、1年次から大きく向上した。
- 社会科：どの観点も市の平均を上回り、全体的に力がついている。特に「位置や空間的な広がりからの発展（地理）」および「事象や人々の相互関係からの発展（歴史）」は2年次に比べ大きく向上した。
- 数学科：「平面図形」「式」が市の平均と同様であるが、「確率」が市の平均をやや下回っている。学習意識は2年次に比べ、大きく向上している。
- 理科：「地球」「生命」が市の平均と同様であるが、「エネルギー」「粒子」が市の平均をやや下回っている。学習意識の向上が課題である。
- 外国語科：「書くこと」が市の平均を上回っている。2年次に比べて、向上しているものの、「聞くこと」「読むこと」が市の平均をやや下回っている。学習意識の向上が課題である。

(2) 教科担当からのアドバイス

- 国語科：国語力の基礎基本となる語彙が身につけてきました。さらに文学的な文章や説明文に慣れるため、読書の時間を増やし、さまざまな作品に触れるようにしましょう。
- 社会科：ニュース等にも意識を向け、その内容と学習内容を結び付けられるようにしていきましょう。学習内容に留まらず、身近な課題や社会全体の課題についても目を向け、自分なりの解決方法を考えてみましょう。
- 数学科：積み重ねの教科なので、前学年までの内容で苦手なと所や理解できない所を確認し、分からないことはできるだけ早く、先生や友だちに相談してそのままにしないようにしましょう。
- 理科：理科は大きく分けて4つの分野に分かれています。知識を覚えようとするのではなく、「なぜそうなるのか」と思考するプロセスが知識の向上につながります。それぞれの分野もリンクしている部分があるので、バランスよく学習し、復習を欠かさないようにしましょう。
- 外国語科：「自分の言葉で自己表現できるようになること」が英語科の目標です。日々の取り組みの成果で、「書くこと」の力が伸びてきています。また、調査の数字には表れていませんが、「話すこと」の力も身につけてきました。「読むこと」の力を伸ばすためには、長さのある文章から大まかな内容を捉えることに慣れることが大切です。これからも英語の文章にたくさん触れていきましょう。